

活用方針

① ガイドマップとの連携

- ・ガイドマップ等に案内拠点や案内スポットまた、エリアの表示など更新に際して連携を図る。
- ・マップに使用する地図のデザインを案内サインと併せ、確認しやすくする。

② 他のメディア・ツールとの連携

- ・観光マップやインターネット及びナビゲーション等との連携を図り、その情報量が多くタイムリーであれば、必要最小限の情報で円滑に誘導が可能になる。

③ 設置主体の認定と支援

- ・ウォーキング系のサインについては、設置や管理を行う組織を認定し主体的に設置、管理を促す。
- ・デザインについては、主導的なものを尊重し、制作費等の支援を行う。

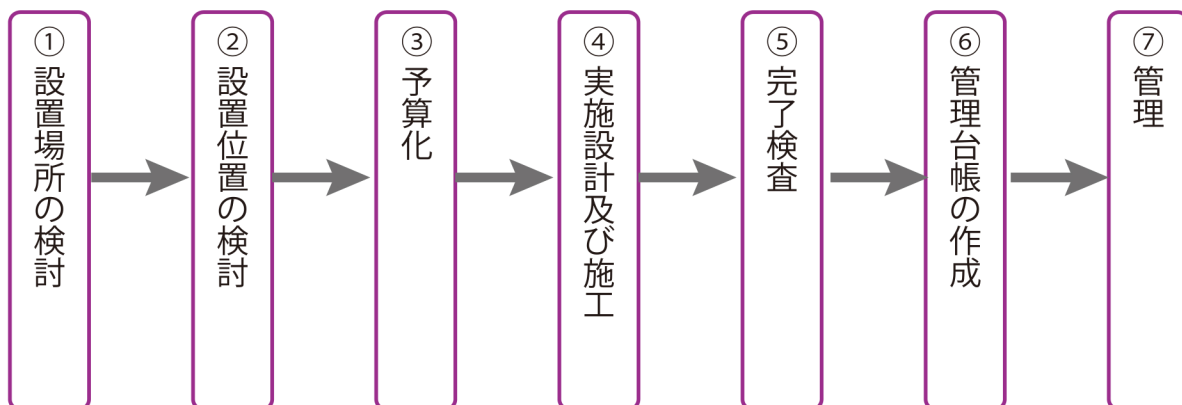


維持管理

既存サイン

- ・既存のサインは基本的に有効活用を行うこととするが、老朽化したサインや計画により不要となったサインは撤去をしていく。
- ・導線計画に基づき実施計画を作成し、サインの集約及び更新が必要なものについて対応していく。

新規サインの設置



管理メンテナンス

- ・管理台帳の整備
新設や更新サインについて管理台帳を作成し一括管理する。
(作成は設置担当課、管理は都市整備課予定)
- ・メンテナンス
設置課において定期的に(年1回程度)保守点検を行い、管理台帳に記録する。
- ・情報更新
施設整備やまち並み整備等による情報更新を、設置課で行う。